平成25年５月１日　第121号
発行／南幌町議会　編集／議会広報特別委員会

なんぽろ 議会だより

アーロン先生南幌中学校で授業

第１回 定例会

３月７日～15日

議会議員政治倫理条例を制定

３月定例会は３月７日に開会し、平成25年度町政執行方針、教育行政執行方針が演説されました。その後、平成24年度各会計補正予算など９議案を審議し、いずれも原案のとおり可決、平成25年度各会計予算案と関連条例案など14議案を予算審査特別委員会に審査付託しました。（審議内容は20ページ）

２日目は４名の議員が一般質問に立ち、執行方針を含め理事者の考えをただしました。

最終日の15日は、条例制定、意見書案など27議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し閉会しました。

平成25年度予算

一般会計他6特別会計予算案及び関連議案7件は、予算審査特別委員会での審査を経て、本会議において賛成多数で原案のとおり可決しました。

条例制定等

○南幌町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（改正）

議会議員の報酬額及び期末手当額の独自削減を20％から10％に変更するものです。

○非常勤の職員に対する給与その他の給付に関する条例（改正）

町立南幌病院医師確保のため嘱託医師報酬を規定するものです。

○南幌町総合計画策定条例（制定）

本町の総合的かつ計画的な町政運営の推進を図るため、総合計画を策定するものです。

○町税条例（改正）

軽自動車税の税率を標準税率に引き下げるものです。

○南幌町保健福祉総合センター条例（改正）

障害者自立支援法の名称変更及び障がい者相談支援事業所の開所に伴うものです。

○南幌町高等学校通学費補助に関する条例（制定）

子どもの教育に係る保護者の経済的負担を軽減するため、高等学校に通学する生徒の通学費補助を実施するものです。

○南幌町町税等の滞納に対する行政サービス等の制限措置に関する条例（改正）

南幌町高等学校通学費補助に関する条例制定に伴うものです。

○南幌町個人情報保護条例（改正）

民法の一部改正に伴うものです。

○財政事情説明書の作成及び公表に関する条例（改正）

財政事情説明書の公表時期を変更するものです。

○南幌町児童生徒等医療費の助成に関する条例（改正）

○南幌町地域生活支援事業条例（改正）

障害者自立支援法の名称変更及び一部改正に伴うものです。

○南幌町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する条例（制定）

○南幌町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する条例（制定）

○南幌町道路の構造の技術的基準等を定める条例（制定）

○南幌町高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例（制定）

○南幌町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例（制定）

○南幌町都市公園条例（改正）

○南幌町公営住宅条例（改正）

○南幌町子育て支援住宅条例（改正）

○南幌町下水道条例（改正）

○南幌町農業集落排水施設条例（改正）

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律により、それぞれ関係する基準を町の条例で定めるものです。

○南幌町新型インフルエンザ等対策本部条例（制定）

新型インフルエンザ等対策特別措置法の制定に伴うものです。

○南幌町議会議員政治倫理条例（制定・議員提案）

清浄かつ公正で開かれた民主的な町政の発展に寄与することを目的に、議員が遵守すべき政治倫理の基本的事項を定めるものです。

平成24年度補正予算

○一般会計補正予算（第7号）

主に財政調整基金・温泉基金積立金及び食料供給基盤強化事業負担金の追加、保育所運営費負担金、南11線道路改良工事費の減額と年度末における事務事業費を精査するものです。

質疑

議員 国の補正予算で追加された町道路面性状調査業務の内容は。

都市整備課長 町道57㎞の調査によりひび割れなどを特定して解析を行い、今後の維持管理等の指標とするものです。

○一般会計補正予算（第8号）

低気圧の通過に伴う大雪により除排雪経費を追加するものです。

○国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

保険給付費及び高額医療費拠出金の減額、国庫支出金等精算金の追加と年度末における各種財源を精査するものです。

○病院事業会計補正予算（第2号）

予定患者数等の見直し、一般会計からの繰入金及び年度末における事務事業費を精査するものです。

質疑

議員 補正予算により事業収支が赤字の見込みとなっているが資金対応は。

病院事務長 予算上は赤字予算となり、赤字補てんは内部留保資金で対応しますが、現金が不足しますので、一時借入金での対応を考えています。

○下水道事業特別会計補正予算（第4号）

公共下水道汚水管渠（かんきょ）移設工事の完了による工事費及び年度末における事務事業費を精査するものです。

○農業集落排水事業特別会計補正予算（第３号）
農業集落排水施設機能強化工事の完了による工事費及び年度末における事務事業費を精査するものです。

○介護保険特別会計補正予算（第３号）
保険給付費の追加、年度末における各種財源を精査するものです。

○後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
広域連合納付金の追加、保険料及び一般会計繰入金を精査するものです。

人事案件

○監査委員の選任
角畠（かくはた）　徹（とおる）さん（60歳新任）
北町４丁目

○公平委員会委員の選任
丸谷（まるや）芙美子（ふみこ）さん（67歳再任）
栄町１丁目
野尻（のじり）　忠勝（ただかつ）さん（67歳再任）
西町６丁目
多門（たもん）　義美（よしみ）さん（63歳新任）
北町２丁目

その他

○町道路線の変更
路線名　千歳川堤防線
晩翠地区遊水地事業に伴い町道路線を変更するものです。

○土地開発公社経営状況報告
（25年度事業計画・予算）

意見書

次の意見書を採択し、各省庁等へ送付しました。

○平成25年度地方財政対策に関する意見書

○ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書

○「治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）」の制定を求める意見書

○生活保護の改定に反対する意見書

○環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）への交渉参加に反対する意見書

○札幌航空交通管制部の存続・充実を求める意見書

一般質問

４人の議員が一般質問に立ち、町長・教育長の考えをただしました

問　本町のＰＲ対策について

答　これからは発信が大事

菅原　文子　議員

菅原議員
執行方針に対して伺います。
農業体験婚活ツアー、企業誘致、宅地分譲などすべてにおいて、まずは本町のことを知っていただくことから始まると思いますが、現状ではまだまだ認知度は高いとは言えません。
①本町を広く知ってもらうために、自治体職員が先になり、町民一人ひとりがＰＲ大使という認識を持ってＰＲしていく。そのためのキャッチフレーズとして町の特色を町長はどのようにＰＲしていくのかを伺います。
②イベントなどで来町した際にお土産として携帯ストラップなどのグッズがあると、家族や周りの方々に見せることにより、本町を知ってもらうことにもつながると思いますが考えを伺います。

町　長
事業の目的により対象と範囲を絞り多様な情報媒体を駆使し、費用対効果のバランスを勘案しながら実施しているものや知名度高揚、観光など広く本町を知っていただくために情報発信しているものがあります。
①今までずっと言い続けている〝札幌近郊の緑豊かな田園文化のまち〟が一番いいフレーズかと思います。道外の方には〝足腰に負担のかからないまちづくりの全町バリアフリー〟とお話ししています。全国でもこれだけ地理的条件のいい町はそんなにありません。町民の皆さんからご意見をいただいて、みんなで共有しＰＲができればいいと思っています。これからは発信が大事になってくると考えます。
②農業に関する特産品や加工品は徐々にできていますが、グッズなどを作る以上、効果をきちんと出さなければなりません。経済的な問題も当然出てきますので、町としてどのようにＰＲできるのかを十分検討していきます。

問　子育ての環境づくりを

答　ニーズ調査を実施

佐藤　妙子　議員

佐藤議員

本町の子育て事業の取り組みは他市町村にも高く評価されていると聞いています。

なんぽろ子育て安心プランについて4点伺います。

①次世代を担う人たちのために心身の健やかな成長に資する環境の整備が必要とありますが、子どもたちがいつ来てものびのびと集まって遊べる児童館などの場所が必要ではないか。

②公共民間含めた所におむつ替えや授乳ができる場の設置と子ども優待のサービス事業など子育てを町全体で応援する啓発と協力を求めていくことが必要ではないか。

③学校教育の中で中高校生による、幼稚園や保育園で乳幼児と触れ合う体験授業は貴重な経験と思うがどのように考えるか。

④中高校生で利用が急増しているスマートフォン等の普及に伴い、有害サイト閲覧を制限するフィルタリングや携帯依存による健康被害などの状況と対策は。

町　長

①平成25年度、計画策定の基本となる就学前児童と小学生を持つ全家庭に対してニーズ調査を実施します。その中で広く地域の子育て世代から意見を聞いた中で検討していきます。

②ニーズ調査結果を踏まえ、町全体で応援する体制づくりを検討します。子ども優待サービス事業は町内民間事業者の協力が必要不可欠であり、実施する場合は北海道の関係事業等を活用しながら進めていきたいと考えています。

教育長

③中学校では総合的な学習時間の中で、正しい勤労観や職業観を身につけるため2年生を対象に3日間の職業体験を実施しています。平成24年度は町内の幼稚園と保育園で15名の生徒が職場体験を行い、幼児との触れ合いを通して感受性を磨く貴重な体験を行っています。

④携帯電話のフィルタリング設定状況は学校及び教育委員会では特に把握していませんが、北海道教育委員会からのパンフレット、学校だより等で啓発を行うとともに、入学説明会や懇談会、家庭訪問などの機会を通して携帯電話を所持させる場合の親の役割と使用状況の確認、管理についての注意喚起と啓発に努めます。

携帯依存による健康被害については、保健体育授業の中で視力低下や睡眠障害、生活習慣に及ぼす影響などの指導を行っています。

キャベッチくんのキャンドルづくりの様子

問 高校生通学費助成の目的は
答 学校を選べる支援を

志賀浦　学　議員

志賀浦議員　執行方針に対して伺います。

①高校生通学費助成は、どこの高校に通学しても一律に支給されるのか。

②南幌高校の2学級確保も厳しい状況の中、安易な支援事業は同校の入学者数に影響が出ないのか。

③この制度の目的は、子育て支援に対するものか、人口減少対策なのか。

④助成の方法を通学費助成ではなく学生支援という形で幅広くできなかったのか。

⑤地元の高校を育てるために、南幌高校振興協議会に対する助成をもっと手厚くできないのか伺います。

町　長

①本町の自宅から道内のすべての高校に通学する生徒を対象にし、定期券購入費の2分の1で上限を1ヵ月当たり1万円としています。

②少子化により生徒数の減少は顕著ですが、近年南幌中学校から南幌高校への入学者数は13から15人で推移しており、影響は生じないと考えます。

③本町は教育環境によい場所にあり、元気に育った子どもたちが、夢と希望を持って行きたい学校を選べる環境を作ってあげたい。

④助成制度の手法は市町村によって様々ですが、本町にとって一番わかりやすい方法をとりました。

⑤引き続き特色ある学校づくりに支援をするため、高校から具体的な要望が出てきた場合には、前向きに検討します。

その他の質問

☜**問**　①平成26年度から実施予定の行政パートナー制度の調査研究状況は。

②町民提案型まちづくり支援事業で、自治基本条例とのリンクした制度検討とあるが。

③地域担当職員制度は各地域によって内容にばらつきがあると思うが、その成果は。

答　①有償ボランティア等の活用で人件費の抑制等があげられるが、本町においてはあまりメリットがないと思われ、導入可否を含めて検討します。

②総合計画の後期基本計画策定時において検討する必要があると考えています。

③最近の成果として、防災図上訓練の実施地区が増えており防災意識の高まりを感じております。

☜**問**　ファミリーサポート事業の利用実績とサポート側の意見等があれば伺う。

答　子育てサポートへの依頼会員が9名、提供会員が8名、両方対応会員が1名で、事業実績が4件です。提供会員からは不安もあったが、育児の手助けができて良かったとの意見がありました。

☜**問**　町立南幌病院は厳しい経営状況だが、立て直しにどのような具体策をとっていくのか。

答　内科医師を1名増員し、内科の機能強化を図り、入院、外来の患者数の増加に努めたい。また、職員の意識改革を進め、今後の高齢化の進行を見据え、町民に利用される病院づくりに努めます。

第1回 臨時会　2月7日

第1回臨時会は、補正予算1件が提案され、原案のとおり可決されました。

平成24年度補正予算

○一般会計補正予算（第6号）

大雪に伴う除排雪経費及び石油価格の高騰に対処し、あったか灯油支給事業経費を追加するものです。

町政を知る良い機会

議会を傍聴しませんか！

第2回定例会は6月開催です。

※本会議の議事録は、役場、あいくる、ふれあい館の情報コーナー並びにホームページでご覧になれます。

ホームページアドレス
http://www.town.nanporo.hokkaido.jp/

問　学校給食の安全性は

答　学校給食モニタリング事業を活用し安全・安心に努める

熊木　恵子 議員

熊木議員

教育行政執行方針に対して伺います。

①学校給食における地場産食材の活用について、町内の農業者が生産している野菜や小麦をさらに拡大して取り入れる考えは。

②福島原発事故以来、食品の安全に対する関心は高まっています。特に幼児、児童に与える影響は大きいと考えますが、放射能測定機を導入して学校給食用食材を検査する必要があると思いますが考えを伺います。

③社会科副読本は、町独自に小学校3、4年生用に郷土を愛する心を養い、町の開拓の歴史や産業などを学ぶ地域教材として、平成26年度からの使用に向け平成25年度中に全面改訂を行うことになっています。

検討委員の選任や内容の検討をどのように行い、この間に起こった本町の大きな出来事をどのように取り入れるのか。また、改訂後の副読本は町民が目に触れ共有することが必要と思いますが考えを伺います。

教育長

①町の規程では、食材等を購入する場合は資格業者としての登録が必要であり、町内の農業者が登録されない限り直接購入はできませんが、市場を通して南幌産野菜を取り入れています。また、お米は全量南幌産を取り入れています。

②放射性物質量を測定する北海道学校給食モニタリング事業を活用し検査を行うとともに、国や道からの食材の安全にかかる動向や情報に注視しながら安全・安心な給食を提供していきます。したがって現状においては放射性物質測定機を導入した取り組みは考えておりません。

③現在使用している副読本は平成16年に改訂したものであり、その後、京北町との姉妹町解消、南空知3町合併協議、多良木町との姉妹町締結、小学校統合や、開拓120年など様々な出来事とともに町や道内の様子が大きく変わりました。

編集委員会は小学校長、教頭、教諭5名、中学校教諭1名で組織し全体で20回程度の開催予定です。

本町の歴史などが多く掲載されていることから、今後はひとりでも多くの町民の方が手に触れられるよう設置場所なども考えていきます。

その他の質問

☜**問**　平成23年4月に南空知4町広域連携検討協議会が設置され、社会教育、観光連携、職員研修など各部会による検討がされていますが進捗状況と今後の課題は。また、近隣4町における公共施設や催しを共有できる環境を早急に整える必要があると思うが。

町　長

答　短期的に取り組むもの、中長期的に検討を要するものに振り分け検討を重ねています。

観光事業は事務レベルの協議段階ではありますが、4町で協力していくこととしています。社会教育施設の相互利用は、住民の交流、施設の有効利用などのメリットがある反面、使用料の統一、交通手段の確保などの課題があることから、中長期的な検討が必要であると考えています。

予算審査特別委員会

高校生への通学費補助事業を実施

第1回定例会において25年度各会計予算案及び関連議案を、予算審査特別委員会（志賀浦委員長ほか委員9名）に審査付託しました。

予算審査特別委員会は、3月11日から4日間の日程で開催され、審議の結果、賛成多数で「可決すべきもの」と決定し報告されました。委員会での質疑を要約して掲載します。

総務費

佐藤妙委員　洪水ハザードマップの見直しは。

総務課　17年に洪水ハザードマップを作成し、その後は更新していません。現状で避難所施設となっている旧南幌小、旧夕張太小の跡利用方針が決定した段階で更新したいと考えています。

熊木委員　町内巡回バスの運行曜日を火曜日と木曜日に変更した理由は。また、今後利用者の声により変更する考えは。

まちづくり課　運行曜日の変更は23年度のデマンドバス実証運行時のアンケート調査結果や町立病院の外来患者の動向から判断したものです。25年度の利用状況や利用者の声を把握し、次年度以降の運行を検討していきます。

佐藤正委員　選挙用備品として投票用紙読取機の購入が予定されているが導入効果は。

総務課　1台の購入を予定しており、開票時の候補者別の有効票のほか、疑問票、白票をそれぞれ毎分600枚の読取処理を行い、開票事務の迅速化を図るものです。

本間委員　災害等による戸籍消失を防止するため、戸籍副本データシステムを整備するが、データ管理の方法は。

住民課　本町の戸籍は22年度から電算化しており、国が設置するデータ管理センターにネットワークを通じてデータを送信し、戸籍データの管理を行います。

民生費

石川委員　障がい者相談支援事業所の開設に伴い、見込まれる効果は。

保健福祉課　法律の改正によりすべての障がい児・者に対して3年間で段階的にサービス等利用計画を策定することになります。

サービス事業者を利用していない方などが、福祉サービスを受けることができるように相談支援専門員が個々の事例に応じた利用計画を策定するため事業所を開設するものです。

農林水産業費

佐藤正委員　農地・水保全管理支払事業の景観形成などの取り組みに町として指導・助言を行っていく考えは。

産業振興課　実践活動として農地・農道・水路の維持管理を行っています。また、環境保全活動として施設周辺の草刈りや花植えなどの活動を行っていますが、町全体の景観形成も踏まえて町から組織に対して要請していきたいと思います。

商工費

佐藤妙委員　南幌温泉ハート&ハートの屋根、外壁改修を予定しているが、内装や設備などの改修予定と費用負担は。

産業振興課　指定管理協定では建築本体に関する修繕は指定管理者と町との協議により費用負担を定めることとしています。25年度の屋根、外壁修繕は町の負担で行いますが、内装や設備の修繕は今後、修繕内容を踏まえ指定管理者と協議をしていきます。

熊木委員　ビューローの今後の利用拡大の検討状況は。

産業振興課　23年度では施設全体として約6万人の方が利用されています。

施設全体の利活用については意見交換会や観光協会理事会で検討してきましたが、指定管理者の導入を含めた検討を慎重に進めていくという方針が示されています。

土木費

内田委員　地域援助排雪の取り組み実績は。

都市整備課　24年度は西町町内会、緑町町内会の2地域で取り組み、町と町内会が2分の1ずつ費用負担をしています。

菅原委員　25年度において中央公園と柳陽公園のトイレ改

修を行うが改修箇所の決定方法は。

都市整備課　利用者数を第一に考え、町の判断により2ヵ所の公園トイレの改修を決定しました。次年度以降も計画的に洋式化に改修していきたいと考えています。

消防費

石川委員　消防救急デジタル無線整備に要する財源は。

総務課　南空知消防組合で緊急消防援助隊設備整備費補助金を活用し、残額の南幌町負担分は地方債を活用します。

教育費

佐藤妙委員　高校生通学費補助事業の対象者は定期券購入者のみ対象となるのか。経済的負担の軽減であれば、高校通学者全員を対象として回数券購入者や下宿利用者、公共交通機関が充実していない高校への自家用車による送迎も対象とするべきではないか。

生涯学習課　この事業は南幌の自宅から高校へ通学している方を対象に通学費の助成を行うものです。回数券や自家用車を利用して通学されている方など様々な通学方法があると思いますが、一定の基準を設け、確実な確認ができる通学定期券の購入に対する補助事業としたものです。

熊木委員　高校通学費補助事業の実施に際し、保護者アンケートなどを実施して、経済的負担軽減に対する意見を聞くべきではないか。

生涯学習課　保護者のアンケートについては、事業効果を高めるためには必要と考えますが、補助事業の進捗状況を確認し検討します。

佐藤正委員　郷土芸能であるなんぼろ俵つみ唄や南幌太鼓の活動に対する支援の考えは。

生涯学習課　郷土芸能のいずれの団体も会員の高齢化や会員数の減少など厳しい現状にあることは認識しています。本町の郷土芸能ですので、町民の方々に見ていただけるような機会の充実を図ることや学校教育の中で触れられるよう小中学校と協議をしていますが、今後も学社融合推進委員会の中で郷土芸能の取り組みについて検討を進めていきます。

病院事業会計

川幡委員　25年度の予算では1日平均患者数で入院45人、外来77人と見込んでいるが、この患者数を確保するための方策は。

町立病院　小児科医師の退職に伴い、今後は内科医師を2名体制にして、内科部門の強化に取り組んでいく考えです。

国民健康保険会計

佐藤正委員　特定健康診査等事業で行われる啓発などの内容は。

住民課　本町の受診率の5ヵ年平均は34・4％と低い状態ですが、23年度全道平均23・5％、全国平均32・7％は上回っている現状です。25年度から第2期計画がスタートしますので、更なる啓発活動や健診データの分析などの健診受診率を高めるよう取り組みを強化していきます。

介護保険会計

佐藤正委員　介護保険給付者の今後の見込みと対策は。

保健福祉課　要支援、要介護の認定を受けられる方は年々増加し、サービスを受けられる方も増加すると思われます。今後も地域包括支援センターを中心として自立した生活を営めるための事業展開を図っていきます。

まちのがんばりやさん

議会だより表紙の「南幌町で頑張る人」を紹介します。

Aaron Russell Johnstonさん27歳

昨年８月から町内の小中学校で英語の助手をしているアーロン先生です。出身地であるカナダのアルバータ州StonyPlainは十勝の鹿追町と姉妹提携を結んでおり、鹿追町の生徒がアーロン先生の自宅にホームステイしていたことから、北海道を選んだそうです。南幌町は実家のあるストニープレインに似ているので、自分の町にいるようで住み心地がいいと言っていました。教えることは初めてだけど、経験を積むために英語の助手になりました。カナダでは授業中に私語をしたり、うるさくする生徒は校長室につれて行かれるのでみんな静かに授業を受けるそうです。南幌温泉にも行きましたよ、と語ってくれたフレンドリーで背の高い素敵な青年です。

南幌町議会

議会報告懇談会

平成25年３月20日（水）
18時～20時 三重レークハウス
平成25年３月24日（日）
13時～15時 夕張太集落センター
18時～20時 ビューロー

町民に身近な議会を目指して

町議会では、日頃の議会活動や議会改革の検討状況などを報告し、町民の皆さんとの懇談の機会を設け、今後の議会活動に反映していくことを目的に、議員による議会報告会を開催しました。
たくさんのご意見をいただきましたが、紙面の都合上一部抜粋してお知らせします。

町立南幌病院

住民　自治体病院の役割は、医療、福祉など住民に対して責任を持つことが基本だと思う。町民のニーズに合った診療科を充実させ、ひとつのまちづくりとしていくことが重要だと思う。

議員　議会でも議論し、経営形態の見直しや高齢者を見守られる病院が必要だという意見が多くあります。不採算を縮小していくことを考える時期がきていると思います。町民の皆さんの意見を聞き、これからの病院のあり方を考えていきます。

小学校跡利用

住民　旧南幌小学校の跡利用で生涯学習センターとしての機能を検討しているが、現在の公民館は多額の費用をかけて廃止、解体するということなのか。以前に公民館の改修工事を行っているので、何かほかの施設に使えないものか。

議員　公民館自体の年数が経っていることや耐震性の問題もあり、安全面、機能集約ということで生涯学習センターを計画しているところです。

土地開発公社

住民　第三セクター等改革推進債という借金をする理由は。

議員　南幌町土地開発公社の解散を予定しており、公社の債務整理に13億７千万円ほどかかるため、その財源を確保するものです。

TPP

住民　町議会としてTPPをどのように考えているのか。また、関係機関と連携して何かのアクションを起こすつもりはあるのか。

議員　議会と町と連携してTPPを考える講演会を開催したところです。また、議会として意見書の採択も行っていますが、今後も関係団体と連携して反対運動に取り組んでいきたいと考えています。

南幌町の財政

住民　町外高校への通学助成よりも、地元の南幌高校を魅力ある学校にすることが必要なことではないか。

議員　子どもの教育のために学校の選択範囲を広げてあげることや、保護者の経済的負担の軽減が目的とされているものです。南幌高校への支援として、南幌高校振興協議会への助成のほか、今後も高校から特色のある学校づくりの提案があった場合は、検討されるとのことでした。

議会改革

住民　障がいのある方は役場３階議事堂まで上ることが大変なので検討いただきたい。

議員　議会では、庁舎１階ロビーでの放映やインターネット配信などについて検討していきます。

住民　議会報告懇談会は、町民の意見を反映させるためにも予算が決まる前に開催して、その後予算が決まってからその経過と結果を報告することが必要ではないか。

議員　他の議会でも予算前に行っているところがありますので検討していきます。

住民　議会政治倫理条例が作られた経緯は。それと税の滞納問題は町として大きな懸案事項となっているので、条例の規定にはないが現議員の任期の平成23年度分から納税状況を公開していくべきではないか。

議員　選挙で選ばれた議員として、清浄かつ公正で開かれた民主的な町政の発展に寄与するということを目的として制定しました。納税状況の公開は平成23年度分からの公開に向け取り組んでいきます。

その他

住民　バスを含めた交通の利便性を図っていただきたい。

議員　巡回バスの運行路線やデマンドバスの導入も含めて検討していきます。

意見

住民　道道と国道の草刈りの回数が少なく、交通事故などの心配もあるので、議会からも要請してほしい。

住民　町おこしのために何かできないかと思っている。議会としても応援してもらいたい。

委員会活動

総務常任委員会

○町立南幌病院及び旧南幌小学校で計画されている（仮称）生涯学習センターの調査内容について協議しました。

産業経済常任委員会

○産業振興課職員と本町における農業の将来を考える会議体について懇談しました。

議会運営委員会

○議会改革として、夜間・休日議会の開催、議会サポーター制度、議会モニター制度について協議しました。

南幌町活性化特別委員会

○町立南幌病院の今後の経営形態について協議しました。

○議会報告懇談会の開催要領等について協議しました。

○南幌町議会議員政治倫理条例及び南幌町議会政務活動費の交付に関する規程の内容等を協議しました。

全員協議会

議会全員協議会とは、議員全員が出席して議会で議決すべき事件に該当しない案件について、町政状況の報告を受けたり、議員の自由討議により調査・審議等を行う会議です。
1月から3月までの協議事項をお知らせします。

●1月25日

保健福祉施策パブリックコメントの説明

2月1日から実施される保健福祉施策パブリックコメント（意見募集）の概要が説明されました。

●2月21日

一部事務組合構成市町負担割合

南幌町が加入する道央地区環境衛生組合、南空知公衆衛生組合、道央地域ごみ処理広域化推進協議会での負担金などの考え方について報告されました。

自立緊急実行プランの効果額

平成21年度に策定された南幌町自立緊急実行プランの平成22年度から平成24年度の3ヵ年の財政効果見込額が1億22百万円と試算され、プランの着実な取り組みにより、ほぼ計画どおりの財政効果が表れています。

地方分権改革に伴う関係条例の整備

地域主権改革一括法の制定により、道路や公園、公営住宅などについて、町の基準として定めなければならないため関係条例が整備されます。

●3月14日

町立小学校（旧南幌小・旧夕張太小）跡利用

閉校した小学校2校の跡利用実施計画（素案）により、旧南幌小学校は（仮称）生涯学習センターとして、旧夕張太小学校は民間事業者の公募による譲渡が計画されています。

国営事業「江別南幌地区」

国営事業により江別市、南幌町の農業用排水施設の整備が計画されています。

今後の財政推計

南幌町の平成25年度から平成29年度までの5年間の財政が推計され、第5期総合計画など見込まれている事業や土地開発公社の解散などを想定しています。平成24年度末と比べて平成29年度末では地方債（借金）残高は1億円減少、基金（貯金）は3億円減少する推計結果となっています。